

報道関係者各位

DMS(ドライバーモニタリングシステム)義務付けの施行日にあわせて

## スマートフォンのインカメラだけで、 運転中の眠気と脇見を見守る「Open DMS Lite」を無料公開

トラックへの装着義務化を見据え、「DMSがどんなものか」を、  
専用機器なしで無料で体験できます

株式会社トライプロ(本社:東京都東村山市、代表取締役:高木 宏昌)は、スマートフォンのインカメラだけで運転者の眠気の兆候と脇見を検知し、音・振動・画面で知らせるAndroidアプリ「Open DMS Lite」を、本日から無料で公開します。専用機器や配線は不要で、オフラインで使えるため通信契約のSIMも要りません。国土交通省がDMSの義務付けを施行する本日にあわせ、「DMSは何を見て、いつ知らせるのか」を自社の車と運転者で確かめていただく入口として公開しました。あわせて、夜間・サングラス・外部カメラ・2カメラに対応する有償版「Open DMS Full」を近日リリース予定です。



スマートフォンをダッシュボードのホルダーに取り付けるだけ。インカメラの映像は端末の中で解析し、保存しません。

運転者の目や口、顔の向きの変化から、眠気の兆候と、前方以外を長く見ていることを捉えます。

※画像はイメージです(生成画像)。スマートフォンの画面は、実際のアプリの表示です。

### 背景:トラック・バス・乗用車などでDMSの装備が義務化へ

国土交通省は2026年9月30日、眠気警報装置・脇見警報装置(DMS)の装備を義務付ける保安基準の改正を公布しました。対象は、トラック・バス・乗用車などの自動車です。二輪自動車、側車付二輪自動車、三輪自動車、カタピラ及びそりを有する軽自動車、被牽引自動車は除かれます。義務付けの規定は本日10月20日に施行されますが、実際の適用は新型車が2031年(令和13年)9月から、継続生産車が2033年(令和15年)9月からとなります。(出典:国土交通省報道発表、2026年9月30日)

一方で、DMSが実際にどう働くのか、運転者にどう受け止められるのか、運行管理にどう生かせるのかを、まだ体験したことがない企業も多いのが現状です。Open DMS Lite は、その最初の一步を、費用をかけずに踏み出していただくためのアプリです。

### Open DMS Lite の特徴

#### 無料・専用機器は不要

スマートフォンとホルダーだけで始められます。正面を見て目を閉じる簡単な登録(校正)で、準備が完了します。

#### 眠気を検知

長い閉眼(1.5秒で注意、2.5秒で強い警告)、頭が前後に揺れる「こっくり」、あくびの続発を、音・振動・画面で知らせます。

#### 脇見を検知

前方以外を長く見ていると知らせます。UN-R183の考え方に沿って速度で時間を変え、時速50km超は3.5秒、それ以外は6秒。時速10km未満では鳴りません。

#### 映像を残さない・通信しない

映像・顔画像は端末の中で解析してすぐ捨てます。ネットワーク通信はしません。記録するのは、警告の種類・時刻・継続時間・速度の数値だけです。

#### 運行ごとの記録をCSVで

運行後に警告の一覧を確認でき、CSVで書き出せます。点呼や安全指導の話題づくりに使えます。

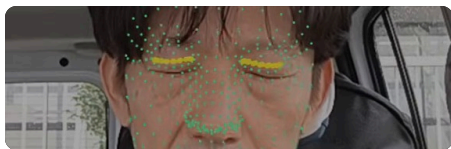
#### 敏感さを調整できる

警告の条件を、10項目のスライダーで調整できます。標準のままでも使えます。

### 入手方法とオープンソース化

アプリは弊社の製品ページからダウンロードいただけます。Google Play Storeでも近日中に公開予定です。ソースコードも近日中に、オープンソースソフトウェア(MIT License)として弊社サイトとGitHubで公開予定です。詳細は製品ページでご案内します。

## 使い方



眠気の兆候があります  
休憩してください

前を確認してください

### ① 取り付けて、準備(校正)

ホルダーに取り付け、顔が映ることを確認。目を開けた状態と閉じた状態を登録します。

### ② 運行を開始

運行中は、眠気の兆候があると画面の色・音・振動で「休憩してください」などと知らせます。

### ③ 脇見もお知らせ

前方以外を長く見ていると「前を確認してください」と通知。運行後は記録を確認できます。

## 有償版「Open DMS Full」を近日リリース予定

| 比較項目    | Open DMS Lite<br>無料   | Open DMS Full<br>有償・近日リリース予定                                            |
|---------|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| カメラ     | スマートフォンの<br>インカメラ1台   | 外部カメラに対応。2カメラで使用できます。<br>インカメラ+外部カメラ1台、または外部カメラ2台                       |
| 夜間      | 非対応<br>暗い環境では検知できません。 | 夜間対応カメラで、夜の車内でも顔を捉えます。<br>超高感度センサーまたは赤外線LEDを使用                          |
| サングラス   | 検知できない場合があります。        | 主要メーカーの偏光サングラスに対応済み<br>外付けの赤外線カメラ使用時                                    |
| 脈拍・ストレス | なし                    | 信号待ちなどの停車中に、rPPG(カメラ脈波)で脈拍やメンタル・ストレスの参考値をリアルタイムに計算・通知します。当初はベータ版で提供します。 |
| 価格      | 無料                    | 参考予定価格 19,800円～<br>税別・カメラ1台込み<br>予定価格は変更する場合があります。詳しくはお問い合わせください。       |

## 導入に必要なもの

- Android 13以上のスマートフォン(インカメラのあるもの)、車載ホルダー、電源(充電ケーブル)
- オフラインで使えるため、通信契約のSIMは不要です
- スマートフォンをお持ちでない場合や、台数分を揃えたい場合は、**中古・新品のスマートフォンを18,000円～(税別)**各種ご用意しています。**設定をしてから納品**することもできます。お問い合わせください

### ご注意(必ずお読みください)

- Open DMS Liteは、DMSがどんなものかを体験いただくための後付けのスマートフォンアプリです。**保安基準やUN-R182/R183への適合を保証するものではなく、国の認定・認証を受けた製品でもありません。**車両の電源(ACC)と連動しないなど、基準のすべてを満たすものではなく、車両に求められるDMSの装備を代わりに満たすものではありません。
- 医療機器ではありません。事故を防げることを保証せず、警告が出ないことは安全であることを意味しません。眠気を感じたら、警告の有無にかかわらず休憩してください。運転の責任は運転者にあります。
- Open DMS Fullの機能(夜間・サングラス・外部カメラ・2カメラ・脈拍やストレスの参考値)は、近日リリース予定のものです。条件によっては検知できない場合があります、すべての環境・すべてのサングラスでの動作を保証するものではありません。脈拍・ストレスの値は参考値で、診断や、眠気・脇見の判定・警告には使いません。

## 入手先・関連リンク



製品情報・  
アプリダウンロード  
[製品ページを開く](#)



カタログ  
[カタログPDFを開く](#)



紹介動画  
[YouTubeで見る](#)

Google Play Storeでも近日中に公開予定です。ソースコードの公開情報は製品ページへ。

株式会社トライプロ(Trypro Inc.) / 代表取締役 高木 宏昌 / 〒189-0001 東京都東村山市秋津町5-25-95 2F

事業内容: 事業用自動車用 安全・事故防止・業務効率化機器及びシステム製造販売/受託システム開発

顔認識応用システム開発やカメラ付きデバイスへのアルゴリズムなどの組み込み、技術提供などもご相談ください。

### 本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

株式会社トライプロ 担当: 高木

TEL: 042-306-2924 / FAX: 050-3488-7454 / E-mail: [info@trypro.co.jp](mailto:info@trypro.co.jp)

Web: <https://www.trypro.co.jp/> / お問い合わせフォーム: <https://www.trypro.co.jp/inquiry/>